

令和4年度 第2回 東北農政局補助事業評価技術検討会 議 事 概 要

1 日 時：令和5年2月7日（火）15:00～17:00

2 場 所：仙台合同庁舎A棟8階第一会議室（宮城県仙台市）

3 委 員：氏家豊美委員、近藤正委員、高橋英子委員、藤科智海委員、森洋委員長
※ 五十音順、敬称略

4 内 容：

補助事業における本年度の再評価対象である

- ・ 水利施設等保全高度化事業「大崎西部3期地区」
- ・ 水利施設等保全高度化事業「広野地区」
- ・ 農村地域防災減災事業「沢内地区」

に係る評価結果書案等について第1回技術検討会の指摘等を踏まえた修正内容を説明し、委員による審議を行った。

次に、補助事業評価技術検討会意見について、委員長案を審議し、意見をとりまとめた。

5 審議内容：

（1）水利施設等保全高度化事業「大崎西部3期地区」

- 藤科委員
進捗率として追記されている80.8%という数字は事業費ベースで算出したのか。
- 水利整備課
然り。
- 藤科委員
計画時点に対して総事業費は増えているのか。
- 水利整備課
資料－1－2 P3 （3）－1）のエのとおり625百万円増加している。

- 藤科委員
増加した総事業費に対していくら使ったかで進捗率を算出しているということか。
- 水利整備課
然り。
- 森委員長
資料－１－１ P 3の「事業主体の予算要求方針」欄の記載については、各地区整合を図るべき。
- 設計課
各地区整合を図ることとして修正したい。

(2) 水利施設等保全高度化事業「広野地区」

- 近藤委員
暗渠排水のイメージ如何。
- 水利整備課
資料－２－２ P 9のとおり。
- 近藤委員
暗渠排水管として説明のあった口径φ300mm～800mmは圃場としては大きいか。
- 水利整備課
P 9のイメージ図では排水路が開渠タイプとなっているが、暗渠化しており、口径がφ300mm～800mmである。
- 近藤委員
排水路は自由水面を持つものか、満水で流下するクローズドタイプか。
- 水利整備課
場所によるものと考えられ、上流は満水、下流は自由水面を持つものと思料。

- 近藤委員
自由水面を持つ部分で酸化鉄を起因として流れにくくなると心配される。国としてフォローをお願いしたい。
- 水利整備課
事業完了5年後の事後評価を通じて事業主体から報告をもらい、フォローしてまいりたい。

(3) 農村地域防災減災事業「沢内地区」

- 藤科委員
測量設計費が増額となっている点については、状況によって設計の見直し等が生じたものであり、事業量が減となったとしてもやむを得ず増額とせざるを得なかったという理解で良いか。
- 防災課
然り。地すべり対策という工事の特性上、地下水等の現場条件が変化することから、やむを得ず測量設計費についてもかかり増しが生じるもの。
- 近藤委員
資料3-2 P10に掲載されている左側の写真の手前に写っている施設は何か。注釈を付けるとより分かりやすいのでは。
- 防災課
集水井である。右の写真に写っている土留工と併せて注釈を追記する。

(4) 補助事業評価技術検討会意見とりまとめ

- 藤科委員
事業の進捗率を事業費ベースで算出することは一般的なのか。
- 設計課
一般的である。

(以上)